

九州国立博物館では、日本文化がどのようにアジアと関わって形成されてきたのかを実感でき、アジアの文化を知ることのできる文化交流展示を4階にて行っています。当館では、展示や博物館の魅力を伝えるため、ミュージアム講座を実施しております。2007年4月からは月1回の月例講演会（5月は休み）として、文化交流展示室の紹介を行う講座を1年間行っています。6月と7月は文化交流展示室Iテーマを紹介する内容で、展示の楽しみ方などを紹介します。

9

第9回 教育講座シリーズ・アジアージュ

西と東の縄文文化

2007年 **6月3日** (日)
14:00 ~ 15:30

【講師】宮地聡一郎（九州国立博物館研究員）

縄文時代は地域ごとに多様な文化が発達しました。東日本と西日本の違いや文化交流について紹介します。



西の土偶
(広島県下迫貝塚出土
・東京国立博物館)



東の土偶
(秋田県石名館遺跡出土
・東京国立博物館)

10

第10回 教育講座シリーズ・アジアージュ

旧石器時代のくらし

2007年 **7月8日** (日)
14:00 ~ 15:30

【講師】志賀智史（九州国立博物館研究員）

今から約1万年前より以前、人々はどのように暮らしていたのでしょうか。金属器も土器もなかった時代ですが、そこには豊かな生活がありました。旧石器時代のくらしを紹介します。



槍先（再現文化財）

- 九州国立博物館 1階 ミュージアムホール
- 申し込み不要（定員300名、先着順）

入場無料！

【お問い合わせ】九州国立博物館 交流課 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
TEL: 092-929-3294 ホームページ: <http://www.kyuhaku.jp>